

## 八ツ面川朝日堰流域水路管理組合の概要

農 村 振 興 局 長 賞 受 賞  
農業・農村振興、地域づくりに向けた取組

### 1. 団体名

や め が わ あ さ ひ ぜ き り ゆ う い き す い ろ か ん り く み あ い

『八ツ面川朝日堰流域水路管理組合』〔山形県遊佐町〕

### 2. 団体の概要

町の中心部を流れる八ツ面川は、農業用水のほか、生活用水としても利用されているが、農業用水のパイプライン化などの整備が進むにつれて既設用排水路の荒廃と水質の悪化が進んできた。このような状況を踏まえ、流域の関係10集落の代表者による八ツ面川流域水路環境整備協議会を発足させ、水環境整備事業等による整備を行った。その後、地域住民も参画した『八ツ面川朝日堰流域水路管理組合』を新たに発足させて、水路の維持管理・生態系の保全・向上に向けた活動に取り組んでいる。現在の構成員は50名。

### 3. 主な活動の概要

八ツ面川・朝日堰流域水路を地域の財産と位置づけ、「施設の維持管理活動」、「水質の保全活動」、「流域に生息するイバラトミヨ等を対象にした生態系保全活動」、「地域伝統行事の実施による地域コミュニティ育成活動」等に取り組んでいる。このような取組を住民自らが流域一帯で展開することにより、地域の自然環境の保全に努めている。



# ひろさき環境パートナーシップ21の概要

（パートナーシップ受賞）  
多様な主体が連携した取組

## 1. 団体名

かんきょう  
『ひろさき環境パートナーシップ21』〔青森県弘前市〕

## 2. 団体の概要

弘前市では環境基本計画の策定にあたって、多くの市民が参画した計画づくりが進められた。この計画策定のメンバーの市民委員が中心となって、“自分達がつくった計画は自分達で推進していこう”と決意し、『ひろさき環境パートナーシップ21』を発足させた。本団体は、当該計画の推進に関するパートナーシップ協定を弘前市と締結して、①生活環境、②農業環境、③快適・文化環境、④自然環境、⑤地球環境のテーマ毎に活動グループを設置し各種活動に取り組んでいる。現在の構成員は約300名。

## 3. 主な活動の概要

本団体の自然環境グループは、青森県レッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているハラビロトンボ等の希少生物が生息できる農村環境の再生のために、パートナーである弘前市をはじめ、地域の小中学生等と協働し、休耕田を活用したビオトープ「弘前だんぶり※池」を整備し、誰もが参加可能な補修作業や生き物の観察等を通じた生態系保全活動に取り組んでいる。また、だんぶり池は、憩いの場として多くの市民が訪れるようになっている。



(※)だんぶり:津軽弁でトンボのこと